

## 国際化拠点整備事業（グローバル30）について

### 概要

「留学生30万人計画」実施に向けて、文部科学省が平成21年度から開始する「国際化拠点整備事業（グローバル30）」に九州大学が採択されました。本年度は、全国で13大学（国立7、私立6）が採択され、九州大学は九州地区で唯一の採択大学。本事業により、留学生の募集から企業への就職を含む出口までの一貫した国際化拠点整備事業を大学全体が一体となって推進し、アジアを代表する世界的研究・教育拠点大学としての機能を強化することを目指します。

### ■背景

#### 国際化拠点整備事業（グローバル30）

知識基盤社会のグローバルな進展により、経済・産業も地球規模での展開が要請される時代となっています。また、国境を越えた学生・教員・研究者の流動性が高まり、国際競争力の向上は我が国の将来を決定付ける課題です。このような中、政府は平成20年7月に、2020年（平成32年）を目途に、現在の約3倍となる30万人の留学生受入れを目指す「留学生30万人計画」を決定しました。さらに、「留学生30万人計画」の実現と、留学生を惹きつける魅力ある大学づくりを目指して、国際化の拠点となる大学を選定し重点的な育成を行う「国際化拠点整備事業（グローバル30）」が平成21年度から実施されることとなりました。

#### 留学生を惹きつける魅力ある大学づくり

九州大学は知の世界的拠点大学として、特に歴史的、地理的な深いつながりを背景としてアジア地域を重視し、多くの留学生を受け入れるとともに、大学間、研究者間において活発に学術交流を行ってきました。これらを土台として、次期中期目標・計画では、「アジア諸国との歴史的つながりや地理的近接性を活かした世界的研究・教育拠点」として、次の100年に向けて知の新世紀を拓くべく、教育、研究、診療等の諸活動を展開する」ことを掲げています。この目標に向け、英語による教育課程の整備・充実、留学生受入数の増加、外国人教員の増加などを実現していきます。

今回の「国際化拠点整備事業（グローバル30）」への参画は、九州大学がこれまで推進してきた世界的拠点大学化構想に向けて、中期目標・計画の実現のための大きな後押しとなるものです。今回、初年度の13の拠点の一つに採択されたことにより、「留学生を惹きつける魅力ある大学づくり」を加速させ、「留学生30万人計画」実現に寄与し、アジアを代表する世界的研究・教育拠点大学としての機能をさらに強化していきます。

### ■内容

#### 2学部及び全大学院に英語コースを設置

学士課程では、当面、工学部、農学部の2学部、大学院課程では、すべての大学院（17学府）で、英語だけで学位取得可能なコースを開設します。日本留学試験や現地オフィスの活用などで、渡日前に入学が決定できるシステム整備、高度人材養成の一環としての就職支援を充実させます。

### 留学生の受入体制を整備

また、伊都新キャンパスに留学生と日本人学生の混住宿舎「国際村」を新設するなど受入体制を整備するとともに、福岡県・福岡市など地域との連携により支援体制も充実させます。

### 受入重点国を設定し留学生を3倍に

今回、受入重点国として、中国、韓国、インドネシア、台湾、ベトナム、エジプト、タイ、オーストラリアの8ヵ国・地域を設定しました。これらの国・地域には、海外事務所を整備し、優秀な学生の獲得に取り組みます。また、九州大学では、エジプトに、日本の大学全体の留学生の受け入れの促進につながる支援を行う「海外大学共同利用事務所」を設置します。

これらの施策により、平成32年度末には留学生数を平成20年5月現在の1,292人から約3倍の3,900人とします。同時に、外国人教員数も現在の約3倍の350人とし、大学全体のグローバル化を進めます。グローバル世界でリーダーシップを取ることのできる日本人学生の育成にも力を注ぎます。

### 予算規模

最大4億円×5年間（平成21年度～平成25年度）

※本年度、九州大学への配分額は、約2億5千万円

### その他の採択大学

【国立大学】東北大学／筑波大学／東京大学／名古屋大学／京都大学／大阪大学

【私立大学】慶応義塾大学／上智大学／明治大学／早稲田大学／同志社大学／立命館大学

### 海外共同利用事務所指定大学

東北大学 東北大学ロシア代表事務所（ロシア／モスクワ）  
筑波大学 北アフリカ・地中海連携センター（チュニジア／チュニス）  
東京大学 東大ハイデラバードオフィス（インド／ハイデラバード）  
名古屋大学 名古屋大学ウズベキスタン事務所（ウズベキスタン／タシケント）  
京都大学 ハノイ事務所（ベトナム／ハノイ）  
九州大学 エジプト大学共同利用事務所（エジプト／カイロ）  
早稲田大学 ヨーロッパセンター（ドイツ／ボン）  
立命館大学 インド・ニューデリーオフィス（インド／ニューデリー）

## ■将来目標

本事業の成果を基盤として、平成32年度までに、全学部横断的に英語による教育を行い留学生と日本人学生が共に高度な教養を学ぶ「国際教養学部」の創設を構想しており、今後さらにアジアを代表する世界的研究・教育拠点大学としての機能を強化し、グローバル化する世界における日本の大学の国際競争力向上に貢献します。

### 【お問い合わせ】

国際部 秋山（国際部長）、白杵（留学生課長）、松川  
電話：092-642-3870, 2138, 7012  
FAX：092-642-4273  
Mail：intlkaigai@jimu.kyushu-u.ac.jp